

P17 森林・林業への関心や理解につなげるための取組

～高校生に対する森林環境教育を通じて～

渡島森林管理署 林 紗玖波

1 研究の背景・目的

高校生の森林・林業への理解や関心を高めるためには、知識や情報を「伝える」だけではなく、相手に「伝わる」仕掛けや新たな発見を感じてもらうことが重要です。「遊々の森」での植樹活動を通じた取組を行ったので紹介します。

相手に「伝わる」仕掛けや新たな発見とは…

- ・ **心**に刺さること(感性を刺激)
- ・ **記憶**に残ること(考える・体験させる)
- ・ **自発的**に行動したくなること(森林の多様性や木材の利用など)

ポイント

- ・ 動画やイラストなどを活用し、**五感(視覚、嗅覚、触覚、味覚、聴覚)**を刺激した分かりやすい解説により、生活に新しい視点を与える
- ・ 国有林を利用して、森林育成などの**体験活動**の場を提供する
- ・ 林内での体験活動を通じて、森林環境や木材利用への関心や意義、**意外性**(若い樹木は、成熟した樹木に比べてCO2を盛んに吸収するなど)を教える

2 研究の内容・成果

「遊々の森」での植樹活動

渡島森林管理署は、函館大学付属有斗高等学校と「遊々の森」協定を結び、森林・林業に関する座学や植樹活動などを通じて森林環境教育を継続的に行っています。

取組内容

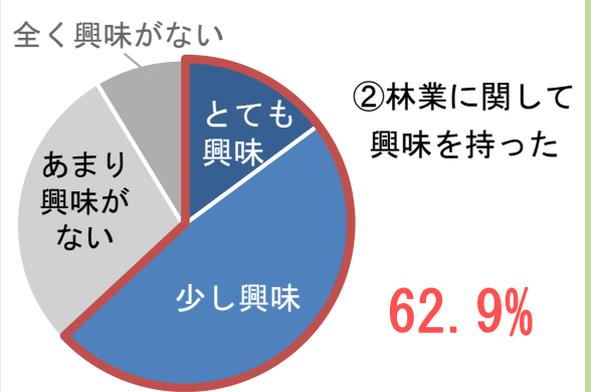
令和7年度は、高校生へ「伝わる」仕掛けを考え、森林の役割や森林づくりに関する動画・イラストなどを多く取り込み、高校生の目線を意識しつつ座学資料を見直しました。また、植樹体験では、用具類の安全な使い方、土の掘り方や埋め戻し方など手本を示した分かりやすい説明にすることを意識しました。

ポイント

- | | | |
|--|---|--|
| <p>令和6年度(改善前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 抽象的な解説が多い ・ 学習範囲が広い ・ 専門用語を含む | ▶ | <p>令和7年度(改善後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林の役割などポイントを絞る ・ 林内作業などの動画やイラストの活用 ・ CO2削減やSDGsなど身近な話題の追加 ・ 専門用語をできる限り排除 |
|--|---|--|



森林環境教育実施後の高校生のアンケート結果



①と②から、森林・林業に関して理解はできたが、あまり興味を持たなかったという生徒も一定数いました。

3 今後の展開

植樹活動のほか座学資料の見直しにより、生徒の森林・林業に対する理解が深まりました。さらに理解や関心を高めるためには、学校側のニーズを踏まえたプランの作成、素材の活用、説明する際の声や言葉の発し方、対話形式の導入など相手の「感性」(五感)を刺激した説明の工夫を試みたいと考えています。